

第2回横浜市瀬谷区地区センター及び横浜市瀬谷和楽荘指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和7年8月7日(木) 13時00分～15時00分
開催場所	瀬谷公会堂会議室1・2
出席者	選定委員：嘉藤委員長、中嶋委員、石井委員、酒井委員、長谷川委員（計5人） 事務局5人
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（議案1、3及び4）※面接審査のみ傍聴可。（傍聴者6人）
議題	1 審査について 2 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）について 3 最終審査・採点について 4 結果報告
決定事項	1 横浜市中屋敷地区センター指定候補者に「株式会社清光社」と決定。
議事	選定委員5人中5人出席。定足数を満たしているため、本委員会は成立。 会議の公開・非公開については、面接審査のみ傍聴可とすることを確認。 1 審査について (1) 審査方法及び審査スケジュール 事務局から審査方法及び審査スケジュールを説明。また、市税の滞納がないこと、暴力団又は暴力団経営支配法人等にも該当せず、資格要件を満たしていることを報告。 (2) 応募団体の財務状況 長谷川委員から財務状況に支障がないこと及び応募団体の経営状況について説明。 2 面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）について (1) 団体A ア プrezentation イ 質疑応答 (委員) 人員配置は大丈夫か。配置が少ないと来館者への対応がおろそかになってしまふこともある。夏休み等には子供もたくさん来る。そのような事態に対応するため、体制強化等は考慮しているか。 (団体) 第4期指定期間は、「つくる・ひろげる・ささえる」というテーマのうち、特に「つくる」の部分を強化し、自主事業を数多く実施してきた。第5期指定期間は、利用者の要望にも応じながら自主事業の回数を調整することで、繁忙期に対応できる体制を構築できると考えている。人員の増員は考えていないが、イベント等の繁忙期には他施設からの応援等も考えている。 (委員) 令和6年度の利用料収入は、平成30年度と比べて低くなっている。また、他の地区センターと比較しても、収入の減少幅が大きいと感じるが、どうしてこのような数字になっているか。 また、地域住民へのアプローチをどう考えているか。特に細谷戸地域は、

	<p>連合がなくなった中で、どのように情報提供しているか。</p> <p>(団体) 団体Aとして、複数の公共施設を管理・運営しているが、傾向として、駅から遠い地区センターは利用が減少傾向にある。また、公の施設が増えており、利用者が分散している。加えて、利用料がかかる施設とかからない施設があり、より安価で利便性のいい施設に人が流れていると分析している。</p> <p>細谷戸地域への情報提供については、チラシ等を直接自治会の会長へ配布している。</p> <p>(委員) 地域特性を分析しているが、分析を踏まえたアプローチをどのように考えているか。</p> <p>(団体) 瀬谷区は横浜市西部に位置しており、立地的に市外からの利用者も多くいる。現在も一部広報をしているが、市外への広報が弱いため、大和市方面への周知を展開していく。また、若い世代に向けて、これまで以上にSNS等での投稿回数の増加やチラシに二次元コードを貼る等の工夫をしていきたいと考えている。</p> <p>(委員) 駐車場が狭く、車を止められないことがある。自転車置き場も狭い。その狭いスペースの中でペイバイクをどこに設置するのか。</p> <p>また、防犯の面で、ふらっと施設に入ってきた人が犯罪に及ぶこともあるが、防犯対策はどのように考えているか。</p> <p>(団体) 現在の駐車場には、車が28台、自転車が約40台止められるようになっている。正直言うと、現在の指定管理の中で駐車場を拡大することは厳しい。案内チラシを作成し、近隣の有料駐車場を紹介することで対処している。ペイバイクの設置場所は検討中だが、現在の駐車・駐輪スペースを減らすことはしない。</p> <p>防犯対策については、来館者には必ず声をかけている。少し話はそれてしまふが、本が盗まれることもあるため、本の貸出スペースで不審な動きをしている方を見つけた際には声をかけるようにして対処している。ケアプラザとも情報共有しながら、スタッフ全員で対処していきたいと考えている。</p> <p>(委員) 自主事業の収入が伸びており、他の地区センターと比較しても平成30年度比で非常に収入が高い。第5期指定期間の計画では、第4期指定期間に比べると物足りなく感じるが、事業回数を減らす意図は。</p> <p>(団体) 第4期指定期間では、多くの方に地区センターに来ていただき、コミュニティを創出したいという思いが強く、様々な分野の自主事業を数多く実施してきた。その結果、いろいろつながりが構築できたので、第5期指定期間では、それぞれの活動を横に広げていく活動を実施していきたいと考えている。横浜市全体の自主事業数の平均は180回くらいのため、それを少し超える水準を維持しながら続けていく。ただ、自主事業を増やしてほしいという地元の声が増えた際には、これまでのノウハウを活かして対応していく。地域の要望を聞いて事業の質を高めていきたいと考えている。</p>
--	---

	<p>(委員) 団体Aの一番の強みはどんなところか。</p> <p>(団体) 団体Aは、もともとビルの総合メンテナンス企業として寄付等の貢献はしてきたが、地域の方と繋がりある貢献をしたいとの思いで、指定管理の応募をしてきた。団体Aの強みは、横浜市の地元企業で、横浜市民、瀬谷区民に貢献をしていきたいという強い思いがあること。自主事業の提案回数は減っているが、第4期指定期間に構築した地域とのつながりの質を高めて第5期指定期間の運営に繋げていきたいと考えている。</p> <p>(委員) 全体の予約のうちWeb予約の割合ははどのくらいか。</p> <p>(団体) ほぼ100%。スマホやパソコンの操作が苦手な方には、電話での代行も行っている。数としては、全体の1割にも満たない程度。</p>
資料 ・ 特記事項	<p>3 審議結果について</p> <p>審議結果は、団体Aが804点となり、「株式会社清光社」(団体A)を指定候補者とすることを決定。なお、応募団体が1団体であったため、次点候補者は該当無し。</p> <p>(講評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体Aに任せていいと思う。 ・提出された資料が良く、プレゼンテーションも良かった。良い団体が運営しているという印象を受けた。 ・自社の強みを聞いたとき、きちんとした回答が返ってきた。横浜市に対する強い思いがあつて良いと感じた。 ・これまでどのように地元に関わってきたのか、どのような理念で運営しているか聞けたことが良かった。 ・人口減少・高齢化社会における施設運営は、利用料金収入の増加や稼働率の上昇を実現させることが難しい中で、地域の特性を掴みながら管理及び事業の展開をしているというところが非常に高い評価に繋がった。引き続き同じ水準で運営を続けていただきたい。また、デジタル対応等、時代の流れに合わせた対応ができる点も非常に評価できる点だった。